

## R4. 6. 30 兵庫県水上オートバイ対策連絡調整会議（第2回）

### 結果概要

#### 1 連絡調整会議の設置目的

水上オートバイ対策を具体的に推進していくため、海上保安部や神戸運輸監理部、兵庫県警に加え、地域の取組みや課題を把握している市町、ユーザーへの指導啓発を行う民間事業者等が参加し、官民連携による連絡調整会議を設置。

#### 2 参加者

別添の出席者名簿のとおり 【構成員・オブザーバー 約30名が参加】

#### 3 議題

- ① 合同パトロール計画、
  - ・ 計画どおり県下一斉パトロールを実施する
- ② 県自主ルール
  - ・ 事務局案のとおり、自主ルールを7月から適用する
- ③ 優良ユーザー拡大の取組
  - ・ 事務局案のとおり、安全宣言ショップ制度を構築・運用し、より良い制度となるよう改善を図っていく。

<主な意見>

##### ■安全宣言ショップ制度

- ・ まず「宣言」制度としてスタートすることは理解する。次の段階である「認証」制度に向けても、引き続き検討願いたい。
- ・ 安全宣言ショップにメリットが無いので、例えば海の駅やマリーナを利用できるなど、具体的なメリットを検討して欲しい。
- ・ ショップを利用せず、公共岸壁や砂浜から上下架している個人ユーザー等に対してどう啓発するかが課題。

##### ■その他

- ・ 神戸や明石の海岸の多くは水上オートバイが乗入禁止となっており、水上オートバイを楽しむ場所、練習する場所が無い。ハード整備を検討して欲しい。
- ・ 全国では水上オートバイを受け入れているマリーナも存在する。兵庫県内でもそのようなことを検討してほしい。

#### 4 今後の予定

10月頃に第3回会議を実施し、今シーズンの取組みの振り返りや課題抽出等を行う